

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	歴史館施設管理事業						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	文化振興課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	文化財係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		21 歴史・文化財		1 小牧の歴史・文化財をPRする				
		副目的									
	予算区分	款	10	項	5	目	7	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	歴史館の設置及び管理等に関する条例・文化振興ビジョン									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	小牧のシンボル小牧山にある歴史館を多くの方に利用してもらうことで、歴史遺産の再確認、小牧のPRにつなげる。									
	内容 (手段)	<p>○24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史館管理運営 管理、運営は指定管理者である小牧市施設活用協会へ委託。 館内ガイドの配置、夜間開館の実施等利用者の利便性向上に努めた。また、さくらまつり、お月見まつり、市民まつりなど他の課が行う事業にも協力し、開館時間の延長・無料入館等、利用拡大を図った。また、小牧山城築城450年記念企画展として、平成25年1月18日～2月20日にかけて、「墨書石垣石材と佐久間氏」を開催し、期間中に3,987人の入館者があった。</li> <li>・歴史館耐震改修計画策定委託プロポーザル 歴史館の耐震改修計画策定委託業者を選定するプロポーザルを実施し、最優秀者1社を選定した。</li> </ul> <p>職員は管理者との調整、入館料の減免、企画展示、開館時間の延長等の諸手続きや、広報活動を行った。</p> <p>○24年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史館管理運営委託料(21,845千円)</li> <li>・歴史館耐震改修計画策定委託プロポーザル審査委員会委員謝礼(75千円)</li> <li>・その他、役務費、負担金等(125千円)</li> </ul> <p>○25年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修計画策定委託料(3,400千円)</li> <li>・小牧城下町パネル作成委託料(1,600千円)</li> <li>・歴史館管理運営委託料(22,889千円)</li> <li>・その他、旅費、需用費等(966千円)</li> </ul>									
	受益者負担	有 歴史館入館料 大人100円(団体60円)、小人30円(団体20円) 受益者負担総額									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	20,091	24,018	22,045	28,855	
		正職員	従事者数	人	0.05	0.05	0.10	0.10
			人件費	千円	266	266	533	533
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	20,357	24,284	22,578	29,388		
対前年比	%			119.2	92.9	130.1		
財源	一般財源	千円	15,900	20,260	18,143	25,211		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	4,457	4,024	4,435	4,177		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	企画展	日	目標	24	11	20
実績				30	60	34	
夜間開館		日	目標	24	16	24	
			実績	21	15	25	
ガイドボランティア		日	目標	8	8	8	24
			実績	16	29	24	
成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25	
入場者	人	目標	35,000	35,000	55,000	60,000	
		実績	53,193	50,069	62,159		
企画展・夜間開館入場者	人	目標	—	—	—		
		実績	8,555	10,561	21,814		

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	
	事業の達成状況	企画展の実施や、夜間開館、他行事、歴史ガイド団体との連携により、多くの方に入館していただき、小牧の歴史を紹介することができた。 小牧山城築城450にあわせ、平成25年1月から、歴史館の休館日を週1日から月1日へ変更し、利用者の利便性向上につながった。
	事業実施における課題	小牧山の山頂という立地条件から、高齢者や体力面に不安を抱える方からは距離感のある施設となっている。
	事業を縮小・廃止したときの影響	市内唯一の歴史資料館であるため、伝えていくべき小牧の歴史、文化財を学び親しむ機会を失う。
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等) 織田信長公による小牧山城築城450にあわせて、通常年1回の企画展を3回に増やして実施し、小牧山城についての魅力を広くPRするとともに、小牧市歴史館そのものについてもPRを図っていく。
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持 事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	市内唯一の歴史資料館を維持することで、文化財を学び親しむ機会を確保する必要がある。
	26年度以降の改善案	文化財の利活用のため、積極的に情報を発信するための中心的な役割を果たす機能となるため、身近な場所で情報発信できる有効な活用方法を研究していく。

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。引き続き指定管理者のモニタリングに努め、利用者アンケート結果を活かすなど利用者の満足度が高まる施設運営に努めること。